

先週、第 6 2 回東海北陸中学校長会研究協議会三重大会に参加して来ました。

2 日間日程で、3 年ぶりに対面での協議形式開催となりました。

会場に入った瞬間、熱気を肌で感じ、コロナ前が懐かしく思い出されました。やっぱり人間って、相手の声や息遣いをその場で感じながら生きていくべきものなのだなと、実感しました。また、初対面の校長先生方と素敵な空間に居合わせられたこと、本当に幸せでした。こうした幸せを与えてくださった中心に、三重中学校長会の皆様のご尽力とご努力があることは間違いないところです。私も、コロナ禍で大きな行事を判断・決断・実行することの困難さを、学校現場における責任ある立場にいる者として、自分なりに味わっているからです。

感染が急拡大する中、校長先生方を津市に集めること 1 つとっても、気をもんでおられたのではないかと察します。しかし、どの会場も、どの会合も、温かく素晴らしい印象しか残っていません。記念講演も、人間味を感じさせる素敵な講師さんでした。2 日間、本当に中身の濃い研修をさせていただき、感謝の念にたえません。全体会を終え、会場を去る出口で、三重県の校長先生方の「ありがとうございました」の声を聞く前に、私の方から「ありがとうございました」と数多く声を発しつつ、協議会の余韻に浸っていた私。

改めて、協議会開催に関係ある三重県教育関係者及び大会運営者、参集した校長先生方に御礼を申し上げます。お疲れ様でした。ありがとうございました。



📷 記念講演の様子